

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	柑橘放任園害虫対策事業			
予算科目	6款 1項 3目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課: ブランド推進課 電話番号(内線): 983-6350(706)			
記入者情報	所属長: 向井 裕臣 担当責任者: 松原 幸男			
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	温州みかん等薄果皮柑橘生産農家			
根拠法令等	伊予市柑橘放任園害虫対策事業費補助金交付要綱等			
事業の目的	高齢化や後継者不足等に起因し、双海地域等において増加している柑橘放任園から発生する害虫被害の防止を図る。			
事業の内容	全園調査に基づく発生予防に資する薬剤の防除補助事業及び柑橘放任園地の伐採補助事業			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	来年度から主力防除薬剤が使用できなくなり、対策協議会で代替薬剤の検討を行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	1,051	1,364	80	1,220
	人件費	4,375	4,423	2,413	4,423
	合計	0	5,787	2,493	5,643
人件費 内訳	人工数	0.55	0.55	0.30	0.55
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,374	4,423	2,412	4,423
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,426	5,787	2,493	5,643

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
調査園地数	園地	1628	1610	581	1470
発生園地数	園地	57	50	7	32

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	1,000	1,000	1,000	1,000	0	4,000

成果指標				
成果指標	発生園地数／調査園地数(全園地)×100			
指標設定の考え方	発生園地数と推進協議会が決定した全園調査の園地数を比較することで事業効果を測る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	0	0	0
実績	0.035	0.022	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業は、関係者が一同に集い対策協議会を開催し、年間を通じて継続的な対策を行っており、発生件数も減少し、効果が現れているため、今後も引き続き事業継続を行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	調査園地に占める発生率は、平成23年度以降2～3%で推移し、効果は高い。今後は、員外者への重点的な対策が必要であり、JA柑橘部会の助力を得て継続実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題